



市立古屋圖書館報

昭和四年四月十五日發行

第十四號

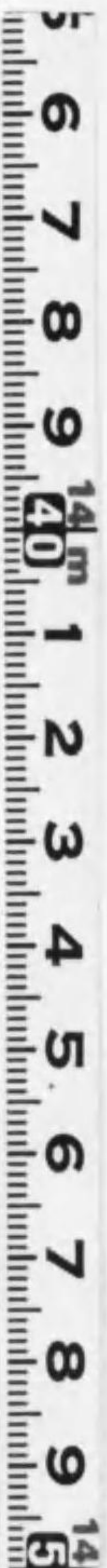


美を愛するは人の天性である。宇宙は廣く萬物は多し。而して其中に在りて、絶妙極致、美の眞髓として敢て之に匹敵するもの無いのが、それが人間其物である。美を愛して止まざるの性を有する人間、それ自身が已に美術そのものであるのである。然して人間の本體即ち自ら稱して「我」と呼ぶもの程摩訶不思議のものはない。カーライルは「人間の本體は天の一呼吸であり、至高至善の神の顯はれであり啓示である」と云つてゐる。又ノヴァリスは「宇宙に唯一の神の殿堂がある、人間の身體が是れである」 There is but one temple in the Universe and the is the Body of Man と云つて居るが、實に我々人間は奇蹟中の奇蹟であり、玄妙難大なる造化の測り得られざる、神秘であるといふことを。造次顔沛も忘れてならぬ。此處に人間としての活躍の意氣が滲み、短き露命も意義附けられて行くのである。夢此事を忘るゝな。(晩翠)

- ◇ 梅には梅の愛すべき色香あり
- ◇ 櫻には櫻の愛すべき色香あり
- ◇ 人間豈人間美の無かるべき……

内容目次

- ▽ 三分館内閱覽統計表
- ▽ 三分館外閱覽統計表
- ▽ 三分館分館兒童學校別調
- ▽ 三分館分館兒童學年別調
- ▽ 三月中最も多く新刊圖書
- ▽ 三月中寄贈圖書
- ▽ 陳列室展覽目錄
- ▽ お伽ばなしの會
- ▽ 兎に關する展覽會目錄
- ▽ 市立名古屋圖書館掌書事務系統表



始



相續法大意 外三部 四 穂積重遠氏
 大正名古屋政治史 一 稲田 學氏
 全 松本 圭堂 一 阪谷 俊作氏
 國有鐵道貨物運輸概況 一 長尾盛之助氏
 十姉妹索引法外一部 二 靛 道 局
 An Inquiring on Mexico外二部 三 青山 書店
 墨西哥總領事館

昭和二年三月中
 徳川時代文藝書類

假名草子 松會開板 二 冊
 ぶんしやう 明曆 喜右衛門板 二 冊
 歌本 丹後本 承應二年 山本長兵衛板 三 冊
 八幡の本地 十二人姫 浮世物語 演草紙 七草さうし 謡 譯書類
 いそほ物語 全本 萬治二年 伊藤三右衛門開板 一 冊
 古 淨瑠 本 正本屋九兵衛新板 一 冊
 曾我扇八景 天和元年 一 冊
 亂曲揃 丹後本 寛永二年 壽兵衛開板 一 冊
 たつたつ 丹後本 寛永二年 壽兵衛開板 一 冊
 ふきあけ 公 平 本 一 冊
 金平戀の山人 一 冊
 酒類童子 舞 の 本 一 冊
 靜 古活字本 一 冊

ふ だ 同 奈 夏 繪 本
 むんきんく 古 活 字 本
 昌黎先生文集 史 記
 大 鏡 丹 後 本
 むしの歌合 丹 後 本
 光悦本(嵯峨本)
 狭 衣 浮 世 草 紙
 西 鶴 本 高名太平記 青木鷗水 本
 丸 版下書報春住吉 奈川支千助 寛政八年
 茶屋 假名手本忠臣蔵 竹田出雲 寛延元年
 八文字屋本 當世お伽曾我 八文字屋自笑
 役者若吹酒 全 初春のいさひ
 日下開山人そへ 赤 本(小形)
 桃太郎 赤 本(大形)
 風の花見 さらけに合戦 いろはたんか いろはたんか
 風流鰻魚退治 青 表 紙
 山本元左衛門 二 冊

人麿一代記 鳥居清満 一 冊
 二姉對花春登 山本明石松 三 冊
 不動三略卷 山本京傳 一 冊
 通子選 五升亭徳升 三 冊
 契實虎之巻 田中金魚 一 冊
 契實虎之巻 田中金魚 一 冊
 四十八手 山東京傳 寛政二年 葛屋重三郎 一 冊
 客衆肝照子 全 天明六年 葛屋重三郎 一 冊
 ふんにやく本 吉原談話 十返舎一九 享和二年 一 冊
 陽臺遺編 黙笑閣主人 草雙紙、同巻物 享和二年 一 冊
 假名讀八犬傳 爲永春水 嘉永年 一 冊
 東海道中膝栗毛 十返舎一九 享和二年 一 冊
 揚州回り腰栗毛 同 文化四年 一 冊
 百人一首馬鹿講 天明七年 一 冊
 春宵風見草 梅亭金鷲 天保七年 三 冊
 花のふはら 松亭金水 文政七年 三 冊
 軒車娘八丈 二世楚蘭人 文政七年 四 冊
 松浦佐用姫石魂録 一 冊
 同年四月中
 佐々木氏寄附繪巻物 五 巻
 酒類童子繪巻 一 巻
 加茂繪巻 一 巻
 奥書永紀元以奥田生之粉本、袖首座寫之 一 巻

伊勢大神宮祭繪巻
 宮後、西河原町市場之圖

市立名古屋圖書館お伽
 はなしの會

第十八回 大正十五年十月十七日(日)
 一、森の王様 午後一時ヨリ
 一、ダグラス大将 近藤重松
 一、月下の仇討 塚本勝雄
 一、木村敏夫 木村敏夫
 第十九回 大正十五年十一月六日(土)
 一、一粒の涙 午後一時ヨリ
 一、坊やのお夢 恒川吉次郎
 一、美しい世界 吉川正雄
 一、赤い鬼 古田昂生
 一、山牛眠 龜山牛眠
 第二十回 大正十五年十一月十四日(日)
 一、正直正吉 午後二時ヨリ
 一、金貨の洪水 近藤重松
 一、智恵賣り爺さん 森川紫氣
 第二十二回 昭和二年一月十六日(日)
 一、ふくろと幸吉 午後二時半ヨリ
 一、桶狭間の戦ひ 塚本勝雄
 第二十三回 昭和二年一月廿三日(日)
 一、櫻んぼ 午後二時半ヨリ
 一、ふくろと幸吉 近藤重松
 第二十四回 昭和二年二月十一日(土)
 一、正直正吉 午後一時ヨリ

一、あざみの花 午後二時半ヨリ
 一、森の王様 塚本勝雄
 第二十一回 大正十五年十一月二十一日(日)
 一、正直正吉 午後二時半ヨリ
 一、金貨の洪水 近藤重松
 一、智恵賣り爺さん 森川紫氣
 第二十二回 昭和二年一月十六日(日)
 一、ふくろと幸吉 午後二時半ヨリ
 一、桶狭間の戦ひ 塚本勝雄
 第二十三回 昭和二年一月廿三日(日)
 一、櫻んぼ 午後二時半ヨリ
 一、ふくろと幸吉 近藤重松
 第二十四回 昭和二年二月十一日(土)
 一、正直正吉 午後一時ヨリ

一、三つの團子 午後三時ヨリ
 一、春日の森 近藤重松
 一、太郎の笛 塚本勝雄
 一、花吹雪後日譚 森川紫氣
 第二十五回 昭和二年二月二十日(日)
 一、三人兄弟 午後三時ヨリ
 一、長い名前 近藤重松
 第二十六回 昭和二年二月二十七日(日)
 一、飴と虎と馬泥棒 午後二時半ヨリ
 一、ウシヨンの話 塚本勝雄
 第二十七回 昭和二年三月六日(日)
 一、青い鷓鴣 午後三時ヨリ
 一、東京言葉 津田一男
 一、猫の卵 近藤重松
 以上 塚本勝雄

兎に関する展覧會

啓 早春の候益々御清邁の段奉慶賀候陳者來る二十日より二十六日に至る一週間
 當市動物園並に圖書館に於て本年の干支に因る兎に関する趣味の展覧會を開催致
 す事と相成候 御案内の如く兎は十二支の中でも最も愛らしき動物にして、古くよ
 り童話に童話に關連深きものに有之候就ては此兎を材題としたるあらゆる蒐集品を網
 羅し之を趣味的に陳列して一般の從覽に供せんとする次第に御座候右は動物を趣味
 化して益々吾人と親密ならしめ延て通俗科學の普及或は動物愛護精神の涵養に資す
 る處もあらんかと愚考罷在候就ては御多用申誠に恐縮ながら御覽の榮を賜り度此
 段御案内申上候
 追て廿一、廿二日は開天閣に於て有志寄附の茶席相催し候間可成兩日間に御光
 來被下度候
 昭和二年三月

名古屋市鷺舞公園動物園
 市立名古屋圖書館

兎に関する趣味の展覧會出品目録

書籍之部

一、月ミヌッポンチ (明治十二年卯年發行) 大 阪 三浦おいろ
 一、歌舞伎新報劇場新報 (同年發行) 同 同
 一、風俗畫報 (明二十四年卯年、同三十 同 同
 一、化粧品商報 (大正四年卯年、同 同 同
 一、狂歌支數集 (和二年卯年發行) 同 同
 一、卵さばら 同 同
 一、觀古雜帖 (中宮寺天壽院羅兎丈) 名古屋 堀江清足

一、鏡 圖 話 (秋草兎飛雀鏡)	一、古今名物類聚 (花兎製)	一、好古小 集 (燈籠踊古圖)	一、文政九年高田山開帳譜 (紅毛兎見世物)	一、鳴海 賀太 (正倉院金銀飾兎金具)	一、兎ニ因ム 畫譜 二	一、日本 靈異記 上中下 三	一、燕石 雜志 六ノ内 一	一、藻 鹽 草 十一ノ内 一	一、和 漢 研 語 十三ノ内 三	一、三代 實 錄 三ノ内 一	一、毛詩 品物圖 全	一、出雲國 風土記 全	一、鳩羊 好事類 二	一、名陽見聞圖會 二	一、善光寺名所圖會 二	一、本朝 食 鑑 二	一、雲 根 志 二	一、本草 綱 目 二	一、小袖樓 樓常盤山 二	一、梅園 日 記 四ノ内 一	一、畫 史 會 要 六ノ内 一	一、訂正古訓古事記 三ノ内 上	一、東 鑑 一	一、から 山繪本 一	一、山東京傳新形雜名紋帳 一	一、つたや主人戲作冠言葉目起記 一	一、和 漢 研 語 一	一、笠亭仙果辛卯春兎ノ編蝠考 一
冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足	堀江清足

書畫之部

一、五雲亭貞秀畫書卷(から山)	一、古陶磁器圖鑑	一、狂 畫 苑 (下)	一、初 心 桂 立	一、子 實 山	一、滑稽 圖會 (上)	一、滑稽 圖會 (下)	一、玉 兎 一ノ卷	一、戲作花赤木世界	一、東都 雜事記 初册ノ圖	一、昔 話 豆 本	一、兎ノ繪本 (米國製)	一、兎ニ關スル本	一、鳥羽僧正高山寺繪卷寫	一、川崎巨泉畫兎玩具圖	一、石蘭筆野澤白兎之碑文	一、松平今隆公白兎橫幅	一、兎ノ短冊	一、森一風筆兎ノ圖	一、河合玉堂筆波上ノ兎圖	一、鋪木清方筆から山兎色紙	一、惠齊筆旭ニ兎橫幅	一、鳥羽僧正筆鳥獸戲畫(複製)	一、いなばノ兎	一、兎ノ圖	一、兎ノ畫	一、金 色 紙	一、大島君川筆丁卯年新年揮毫	一、難屋立前筆十二時畫贊	一、時代兎製表裝淇園筆器老	
冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文	佐藤好文

一、古筆 人物 兎	一、兎 寫 生	一、也有筆木賊切畫讚	一、土期筆 兎畫讚	一、杏齊筆 勝々山圖	一、韓文公毛穎傳(三百六十君合作) 紙製二十本	一、卯年試筆六曲屏風 二双(三百六十君合作)	一、二 枚 折	一、僧月 僧 兎畫讚	一、荒川 羊 兎畫讚	一、活 額 入	一、奈良唐招提寺二点齋屋樂書兎ノ繪	一、半折白兎詩(原田壁石)	一、西山翠峰筆兎橫幅	一、巖谷小波氏兎畫讚	一、東畝作月下雙兎	一、紙 本 牛 折	一、野村玉溪筆月兎之圖	一、吉風筆 三兎額	一、玄々齊筆兎文字	一、勝々山畫(杏齊筆)	一、兎模樣茶碗畫幅(杏齊作)	一、器具及附屬品類	一、兎型 火 事 兎	一、兎前立 火 事 兎	一、兎透シ 彫 帶	一、兎彫 付 木 刀	一、兎 鏡	一、兎 目 貫			
幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	幅	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎	加藤常次郎

器物之部

一、兎 用 鞍	一、馬 鞍	一、刀 筒	一、同	一、時代 軒 ト 白	一、時代 天然物兎置物	一、熱田神宮古補月兎置物	一、木彫から山置物	一、香山作蓬月兎置物	一、木 彫 兎 置 物	一、一刀 彫 兎 置 物	一、双兎 置物(陶器)	一、職 物 飾 臺 付	一、深 井 燒 香 爐	一、古瀬戸 小 香 爐	一、香 山 作 香 爐	一、白磁 雙 兎 香 爐	一、瀝 二 兎 香 盒	一、木彫香盒(松月書付)	一、熱田神宮古補香盒	一、杏齊筆々山繪茶碗	一、珍竹 兎 形 茶 合	一、兎一刀 彫 (坂口晴風作)	一、香爐 兎 面 陶 器	一、黃瀬戸 兎 餅 つき	一、志 野 菊 兎	一、兎 器 物	一、竹製 兎 香 盒	一、兎 耳 花 壺			
個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館	朝日奈古物館

一、根付(各種取交セ)	十二個	名古屋	鈴木虎之助
一、永樂保全皿	五個	同	同
一、免 輪 茶 碗	一個	同	同
一、表裏免酒盃	一個	同	同
一、フランス陶器菓子入	一個	同	同
一、フランス陶器食器入	一個	同	同
一、フランス陶器胡椒入	一個	同	同
一、眼鏡作根付	一個	同	同
一、小形彫透額付	一個	同	同
一、免 彫 杖	一個	同	同
一、呂 彫 刺	一個	同	同
一、古 三番隻押手形	一個	和歌山	高橋芝光
一、免押輪小箱	一個	名古屋	鈴木信次郎
一、免 盤(造幣局製)	一個	同	佐藤好文
一、徳川時代懐中鏡	一個	同	同
一、時代スキ製免	一個	同	波邊龍輔
一、唐式八花白銅鏡(月免紋様)	一個	同	同
一、輪 錢(免背波)	一個	同	水谷文一
一、木彫免根付	一個	京都	大 林 清
一、花免の製地	一個	同	加賀波鶴
一、免文様びら(替)	一個	名古屋	伊吹蘇石
一、木彫免根付	一個	同	佐藤好文
一、時 代 根 付	一個	同	同
一、免 輪 盃	一個	同	吉田太一郎
一、免 輪 扇	一個	同	小島兼次郎
一、免 具 海 免	一個	同	同
一、卯ノ丸免	一個	同	高橋作之介
一、木彫免扇額	一個	品野町	柴田善右衛門
一、圓 中 鏡	一個	名古屋	堀 井 嘉

一、勝々山火打揚枝入	一個	名古屋	伊藤房子
一、白ニ杵揚枝入	一個	同	同
一、藍甲免ニ羽根前巻等	一個	同	同
一、黒甲月ニ免差入櫛	一個	同	同
一、象牙勝々山簪	一個	同	同
一、陶器免ノ圓帯	一個	同	同
一、琥珀玉免ニ木賊圓揚枝入	一個	同	同
一、免ノ彫四分一帯	一個	同	同
一、光芳彫銀免の根付	一個	同	同
一、昔ばなし玩具木板木	一個	同	同
一、免ノ石 鱈	一個	同	同
一、免 根 付	一個	同	同
一、波ニ免木彫(欄田具古案)	一個	同	同
一、免 輪 帛 紗	一個	同	同
一、免 蓋 物	一個	同	同
一、銅 銅 免 掛 額	一個	同	同

上

佐々木市太郎氏より

珍書大觀金平本全集始め八百六十三點此見積價格壹千五百圓本館へ寄附

九善名古屋支店長後藤藤五郎氏より

鑲石式二球増幅聴取機蓋函附一臺及其附屬品等見積價格參百圓本館へ寄附

河瀬條吉氏より

東洋タイプライター一臺附一機見積價格參百六拾圓本館へ寄附

一、古銅免耳附花入	一個	名古屋	東松松壽
一、仁清寫金府燒免香爐	一個	同	加賀波鶴
一、備前燒免置物	一個	同	同
一、陳元ヒン免水盤	一個	同	同
一、免ノ香 盒	一個	同	同
一、同	一個	同	同
一、足柄山金太郎免三熊相模飾物	一個	同	同
一、免 置 物	一個	同	同
一、古 代 作 件	一個	同	同
一、樂山作免香盒	一個	同	同
一、三 免 香 盒	一個	同	同
一、時 代 香 爐	一個	同	同
一、白黒免香盒	一個	同	同
一、飛 免 型 香 盒	一個	同	同
一、時代伊萬里染附免置物	一個	同	同
一、樂山作花免茶碗	一個	同	同
一、志 野 茶 碗	一個	同	同
一、免ノ蓋置(弘道作)	一個	名古屋	加藤雲山
一、菓 子 器	一個	同	近藤小昂
一、清水燒菓子器	一個	同	同
一、吳州大香盒	一個	同	高田定秀
一、大島如雲作免ノ置物	一個	同	鈴木虎之助
一、群免喜戲之圓壽輪臺	一個	同	長谷川鐵吉
一、古銅瀝免置物	一個	同	松田豊山
一、鑄 銅 免 床 置	一個	同	東松松壽
一、免置付平丸釜(淨久作)	一個	同	同
家具及文房具類	一個	同	同
一、時代桐大火鉢(傳曰甚五郎作)	一個	名古屋	鈴木虎之助
一、免耳木賊彫宣徳火鉢	一個	同	同
一、古瀨戸手 爐	一個	同	同
一、木賊圓風呂先屏風	一個	同	同
一、古瀨戸屏風押へ	一個	同	同

一、免 型 手 爐	一個	名古屋	鈴木虎之助
一、杵型花瓶(生花瀧)	一個	同	同
一、時代月ニ瀝瀟輪硯箱	一個	同	同
一、免水硯ト木墨	一個	同	同
一、平戸燒文 硯	一個	同	同
一、玉石文鑲取交セ九個	一個	同	同
一、銅 文 硯	一個	同	同
一、免鈺印材各種取交セ十二個	一個	同	同
一、古 銅 免 水 滴	一個	同	同
一、陶 器 水 滴	一個	同	同
一、唐木嘆息入免ノ印籠	一個	同	同
一、筆(白免毫)大中小各壹對宛	一個	同	同
一、免 陶 印 材	一個	同	同
一、因部燒免水滴	一個	同	同
一、免ノ水 滴	一個	同	同
一、志野時代屏風止メ	一個	同	同
一、土器免形手あぶり	一個	同	同
一、免模燒壽輪飾物	一個	同	同
一、鑄鐵製免手焙	一個	同	同

